



第 32 回 全日本学生選手権個人ロードレース大会



2016年6月11日(土)～12日(日) 長野県木曾郡木祖村・奥木曾湖周回特設コース
主催: 日本学生自転車競技連盟 / 共催: (公財)日本自転車競技連盟 長野県自転車競技連盟
後援: 木祖村 木祖村観光協会 協力: 独立行政法人水資源機構味噌川ダム管理所 木曾広域消防本部
協賛: 株式会社パールイズミ ブリヂストンサイクル株式会社 株式会社日直商会 公益財団法人 JKA
公益社団法人全国競輪施行者協議会 一般社団法人日本競輪選手会 やぶはら高原イベント実行委員会

Communiqué

チーフコミッサー 荒井 純一

1. ゼッケン・フレームプレートの取付け

- (1) ゼッケンの装着は一般規則に準じる。(右図参照)
 - ・ゼッケンは大会終了後、すみやかに大会本部に返却すること。
 - ・未返却・紛失は、一枚につき1,000円のペナルティーを科す。
- (2) フレームプレートは、フレーム前部中央につけることを原則とする。
 - ・中央に取り付けられず、左右どちらかに寄ってしまう場合は、左側に寄せること。また、どうしてもフレーム前部に取り付けることが不可能な場合、シートピラーに取付けることを認めるが、脚部で隠れないよう十分突き出した位置にしっかり固定すること。



2. 器材の交換について

- (1) 競技中の器材交換は、主催者提供の共通器材車によるほか、P.7(奥木曾大橋手前)と P.18(源流ふれあい館前)においてのみ、地上にいるチームスタッフからの器材提供・修理支援を認める。
- (2) 共通器材車に積載する車輪は、学校名を明記し、スタートの30分前までに大会本部まで持参すること。なお、レース中に交換車輪を受け取った者は、レース終了後、速やかに大会本部に返却すること。
- (3) 落車の原因となるので、飲食料補給区間での器材修理および交換は認められない。

3. スタート・ラインでの整列順序(男子レースのみ)

- ・最前列 : 前年度本大会上位10位以内の選手
- ・第二列 : クラス1の選手
- ・第三列 : クラス2の選手

4. 失格時の注意事項

- (1) 周回遅れで失格となった選手は、自らゼッケンをはずし(フレーム・プレートは外さない)、原則として自力でフィニッシュエリアに帰ること。
- (2) 自主的に競技を途中棄権した選手は、フィニッシュエリアの審判に必ず棄権の旨を伝えること。通告のない場合はペナルティーとなる場合があるので注意すること。

5. 雨天時のスタート地点の変更

- (1) サインシート設置場所はトンネル出口 P.18 近傍とする。
- (2) スタート前の選手待機場所は、トンネル内を使用する。この場合、進行方向左側(湖と反対側)の車線は車両が通行できるように、必ず空けておくこと。

6. 飲食料補給

- (1) 飲食料の補給場所は、ダム上の現場に指定された区間(スタート地点付近の直線)とする。進行方向右側(湖側)のみから行うこと。飲食料補給は下記の間に認める。
 - (1) 男子 5周回完了直前(スタート後約44km, 前方の周回板表示あと15のとき)から 19周回完了直前(フィニッシュ迄あと10km, 前方の周回板表示あと1のとき)迄
 - (2) 女子 5周回完了直前(スタート後約44km, 前方の周回板表示あと6のとき)から 10周回完了直前(フィニッシュ迄あと10km, 前方の周回板表示あと1のとき)迄

7. 無線機の使用禁止

- (1) 本大会で、選手の無線機使用は認められない。